

バストス週報

第三百三十五号
昭和卅一年
九月九日
発行
DIRECTOR
KOITI MORI
REDATOR
SHION ODA
RUA PRES.
VARGAS 188
C. P. 112
BASTOS
C. P.
1 ano
DE 1954
100\$—

さすかに快答

又生長の家がといわれましよ
が、時局ものですから今一回だ
け、ごしん棒下さい。

去る八月二十六日クルツラ日本語放送で生長の家教主先生とアナウンサーの問一答があるとの事で、興味を興して拝読した。問答は時間にして約三十分、互つたが、かんじんの趣は僅か十五分位のものであったろうか。若原アナ氏の質問は、どうも拙劣れがわるく要点をくくのがもどかしく、相手にしやべらざるより自分のしやべる方が多く、時間を限られた、こつこつというラジオ問答でのやり方は今一エエありたいところである。問答の焦点は教主先生方の歓迎に縮められていた。

第一問「各地から放送局に手紙が寄せられて、います。教主先生の歓迎方法に対する感で、これは出状者だけの意図であつて一般の気持ちではないと思つて先生御考へはどうせしやうか」といふにあり、つまり例のハチマキスキの一件を尋ねたわけである。之に對する答は教主先生の答の中、要領を得ている。「吾々が日本を出発する前、アラジルの生長の家支部の方から歓迎について問合せが参つてゐる。歓迎街頭行進を希望のようであつた。吾々として伯國の事情に、くわいから、すべてをわらうの事情に、従うが、伯國の風習になじまぬような行動は慎しむようにと述べた。おいた、ごの返事であつた。

此の質問中アナ氏の言つた、出状者だけの意図云々は、アナ氏の主観的な解釈のようで、百人がかりに何かを思つて、その意志表示をする人は十人に足りないので、世間というものである。常識からいふと、こつこつという事を筆にする場合、一人の言は百人の意をのべることも言えよ。教主先生をツイクの前迄つれ出したとすれば、同情的なことを言つて、よい子にならうというような弱さがあつてはなるまい。

又先生のお答には歓迎方法のハチマキの件も、うすうす事前に御存知で伯國でやつても、さしつかえなければ、そちらに委

ALFAIATARIA IMPERIAL

若向きの
上品な
ファッション



ヨークはマルヤマで

丸山洋服店調製

WA KA MO TO

わかもと

男性美すなわち健康
健康は「わかもと」
から生れます

一家一びん
わかもと
常設主義
を實行して
下さい



各薬店にあり

東京わかもと製薬株式会社
伯國總代理店
聖市、パリス、ヌルヌル製薬会社
社長中久保登太郎
C. P. 三六五六

せるといふ風にも受取れ、又責任は歓迎者にあるといふようにもきこえた。

第二問は「教主先生は各地巡化の際、市当局をお訪ねになり市長其他要人と会つて居られるのは誠に、このころと思つて、ごんごん印象を受けられましやうか」

答「市長さんなどを訪問して、未伯の御挨拶をいたしました。何れも善人、よく、日本移民の勤勉さを讃えられました。歓迎の模様については、それは、それほど、異様な感じは与えて居ない様に思ひます。

第二回 及答は外交辞令で別に大した意味はない。
 第三問 「ある手紙によりますと、生長の家で集められた身附金のようなものを奥地の文化向上に資してほしい」と云うのがあり、聖市のような都会ですと比較的諸文化に恵まれていたが奥地は大変な状態に陥っているというのです。
 答 「たゞそれはどの様なことを希望されるのですか」

質問者 「まあ図書館のようなものではないか、生長の家が協力をなさると思っています。生長の家の発行書類など、おまけに合致しますので」
 この問答は、そのまゝでは頂さかねる。応答にもほんとは来ないものがあった。生長の家文庫でなく広い意味の図書館であると思ふが、徳久博士のお答だと地方青年を誂友にする好都合な案という事にならなう。だ、図書館があるうと、其他の社会事業であるうと、これは中々容易ならぬ企圖という外ない。ラジオの一回一答の、よくなし得る問題ではあるまい。
 第三問 「次に徳久博士に御伺しませんが、之も新聞にのつていた読者の声です。何か先生の御書きになつたもので、著書の名が、ちがつて居る内容が、同じだと云ういのですが」

徳久博士 「それは私の著書ではありませぬ。谷口雅春先生の人間性の解剖という著書です。之は数年前谷口先生が口演されたものを、栗原得二氏が記述して出版されたもので、筆記者の名を記述しました。それを今度再版するに當つて口演者の名がよいと谷口先生の名を出されたもので、これはあつて内容のものも谷口先生になすれば決して書けるものではないのです。これは今夜の本を見ていた、これは此の間の事情は、すくなく、答です」
 第四問 「生長の家では無抵抗主義で、他が何と攻撃されようとも一切おこつて辯解されんというふうなききましたか」
 徳久博士 「いや、そんな事はありませぬ。答に値しないものは黙殺することもあり、また、正しい事は、堂々と主張します。答もして居ります」

第三問は、アノ氏の最も拙劣な質問だった。質問をする以上、もう少し質問内容を身につけていないといけぬ。バウリスは、八月十七日所載、則正義氏が徳久博士に問うと堂々発表している問題である。發表するからには、別近氏は、栗原得二者と谷口雅春著と二冊のものを、通読して、いるにちがいない。そして内容が全然同じなので、はておかしと思つたのだらう。幸い序文を書いた徳久博士が、滞伯中なので、身辺がな人に尋ねて見たいという



街学的な処もないではないが、偶然さういふ目にぶつかつて見れば、疑念を起すのも当然だろう。
 それを徳久博士は「ああいう文章内容は、谷口先生でなければ書けるものではない」と答へつれて、口演を栗原得二の名で刊行せしめたか、を云つては、世間一般、則近氏の知りたかつたことは、世間一般の疑念に通ずるものがあるからである。何れ何れの事情があつたのであろうか、首尾は首尾としてズバリとお答へ下らば、一度で米解することではないかと思ふ。勿論、徳久博士の云われる通り内容は、谷口先生のものにちがいない。よんで見れば、そのカンの事情も判るであろう。その疑問を打ち出した、則近正義氏も、歌人論著としてコロニアで、多少とも名を知りたて、男である。「よめは判る」で片づけられると少々をそつかしいことをしたことに、つてしまふようでもある。その公明疑点のお答として、は、いささか明快を欠くさうい無さにしても、あらすといふか、明かであらうか、何れにしても、新興宗教に風当たりはつき、ものである。信者の方々の敬虔な信仰態度には、敬服するが、前記各項のような疑点、煩悩に對しては、その答辭には、やはり近代の明快さがほしいと思ふ。その点、教主先生が最後に、「近く（八月末）誌友の集りが聖市で開かれるから、その機会によ、く善処するよう話しませう」と結ばれたのは、氣持がよかつた。（糸音）

春 雑 念 腹 遣 (二)
 馬交る見てをる牧の牛の群 南天子
 春の草牧場ついで 取三つ 水仙子
 春宵や薄着で出て来て寒がりぬ 千代子
 花材とほし庭に散りし花マツガ 子エ
 版小屋の屋根一眺む羽抜鶏 秋扇

小林會計事務所提供

オズエルフ

農業登録の心得と其の恩典

聖市 京野 四郎 (記)

一九四九年十月廿二日の省令第七七五号、
一九四九年の法令第三三五六号及四四二〇五
号D.A.S.C.の手続に明記された所に依り、
生産統計局で作られた農業者及び牧畜家登録
規則を一九三六年一月廿日に省令として発令さ
れた法令に代るものとして承認することに決定した
事ニエル。テ、カルウアリヨ

一九四九年十月廿六日農務省

農業者及び牧畜家の登録規則

(生産統計局の職務)

第一條 一九三六年一月三十日の農務省令に規
定され、生産統計局の職務となつて居る農業者
及牧畜家の登録は現在その規則が定めら
れる所に依り規定される。

第二條 農業者及び牧畜家の登録は、後者の
生産状態を改善する為めに農務省との接融を
多くするに依り、農畜産物及び自然物産
の生産の統計調査資料として補助的な役割を
果たす目的をもつものである。

第三條 本登録は任意のものであり登録は
無料である。その登録は不動産の所有者、土
地購入契約者、借地者、永代借地者、譲受人
の名で登録することが出来る。

第一項 農業者及び牧畜家の登録に記入さ
べき事項は農畜産物及び自然物の收穫に使用さ
れ、且土地で、且最少限一ヘクタール(一〇〇〇〇平方メ
ートル)以上の面積を有する不動産のみとする。

第二項 もし土地が他のムニシピアに属する土地
の場合には、その登録は、そのムニシピアに属する土地
のみの登録対象となるものとする。

農業者及び牧畜家登録に登録した者に対し、農
務省は農務省の範囲内での、特典を与えられる。

一 国家畜産物産の仲介により、
a. 繁殖用家畜の運搬に補助す。
b. 輸入した繁殖用家畜に対し、病気の
予防処置を採ること。

c. 国産又は外国産の繁殖用家畜の払下げを現
行規定により、割払で行う。
d. 現行規定により、一般牧畜家に対し、種痘
血清、病理製品、化学製品、薬品、道具、獸
医用の少量の道具機械を払下出来る。

e. 国家畜産課(D.N.P.A.)の職務として
繁殖用家畜の種付をする。
f. 消毒用機械の据付又は、カラバト駆除、皮
膚病治療、害虫駆除の為の、浴室を
建造する為めに補助す。

g. サイロ建造に対し補助す。
h. 家畜の一般に対する注意や説明報告を
なし、特別の場合には畜産課の職員に

よって技術援助を与える。
i. 桑園や蚕の種卵を提供する。
j. 畜舎や病室、駆除用浴室、その他の牧畜用
建築物の建築の設計、や集、調査をする。
k. 養蚕家に対し補助す。
l. 或網製造所建築に対し補助す。
m. 苗の乾燥物建築に補助す。
n. 農務省の配給計画に従い、牧草の優
良苗又は種子の配付優先権を与える。
o. 人工受胎をする設備に補助す。
p. 牧場の経営、牧草の選採の任事に対
し協力契約をする。
s. 雛のヒナ、児童蜂の種蜂を提供す
(此の項つゞく、以下次号)

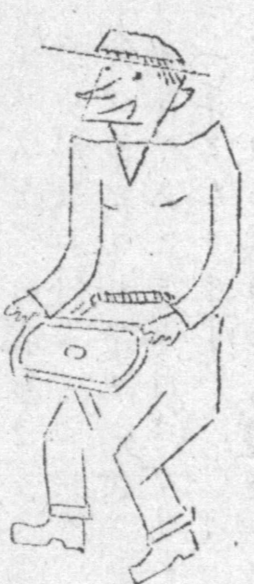
登録手続は 小林會計事務所
無料にして居ります。
御相談下さい。

不二式アミ物器

夏季はレースあみ
一週間無料講習いたします
シネマ館前 梶山米子

新農年度がやってきました

天候にまけず
害虫にやられぬよう
お願いたします



VENZENEX
Casa Faroda

ベゼネックス

作物の種類により薬品も肥料も
それそれ、ちがいます。
カタロス進呈 (現金又はクレジット)
工場より注文品へ直送

ベネーノと
アツーボ
太郎田商店

ブラジルの独立戦争

今から一四三年前即ち一八二二年九月七日ブラジルは母国ポルトガルから独立した。ドン・ペドロがイヒランの丘上を討つていた帽子からポルトガルの飾りをもととり、かの有名な宣言「独立か死か」と叫んだという語、後度々各々も之を聞いていられるが、この独立宣言がなせられたのちブラジル国内はどんな情勢であつたらうか、安藤全八氏のブラジルの歴史から拾つて見よう。

ブラジル各地に駐屯していたポルトガルの軍隊は依然としてブラジルの独立には反対であつた。独立宣言後、パラシマラニオン、バイア、モンテビデオ等にあつた軍隊は新帝國に反対の氣勢を示していたが、独立の翌年遂に反旗をひるがえして立つた。バイアではポルトガルのマテイラ將軍が頑強に抵抗したが、コクラン提督の率いる海軍はこれを攻撃して七月二日、ポルトガルへ敗色せしめた。ついでコクラン提督は、マニオン、バラシマラを討つて反軍を鎮定した。モンテビデオではポルトガルのアルバロ・コスタ將軍が四千の兵を備えて首都に立ちこもつていたが、北伯各地でポルトガル軍が敗れたことを知り、ポルトガル本國へ帰るの道（一八三二年十月十八日）國內は漸く平靜になつた、これからの乱を独立戦争と云う。

ドン・ペドロ帝の専横

一八二二年五月三日には憲法制定の議會が開かれたが、専横的なドン・ペドロ皇帝と自由主義のアンドラーネ三兄弟（ジョゼ・ボニファシオ、フェルナン・フランシスコ、アントニオ・カルロス）の各大臣やその一派の者との意見が合わず、議會は大混乱に陥つた。然るに皇帝はブラジル独立の功労者たる三名をフランスへ追放した上、議會を解散を解散してしまつた。翌年三月廿五日新に十名の委員によつて憲法が制定されたが、この憲法は國會議員に提出されおに發布されたためか、ねて皇帝の專制的國政に不満を抱いていた自由主義派の者を怒らせ、てしまつた。一八一七年のペルナンブコ革命に加つた者はこの機に再び北伯の独立を企て、ヘルナン・フコ、リオグレンネ、セララ、及びバイアを一丸とする赤道同盟を結んで新共和國の樹立を宣言したが、一八二四年七月二日この再度の革命も九月十七日レシエラに上陸した官軍軍艦に逃れて赤道同盟は、はかなく潰れてしまつた。しかしその翌年には最南部のオリエンタルドウルガイ州に独立運動が起り、革命軍は隣國アルゼンチンの助を得て一八二八年遂に目的を達し、新ドウルクアイ共和を建てた。

ベレアドール市會議員に

ものを訊く會

日時 来る九月十六日正午より
場所 バストス週報社（裏のサロン）
會費 不要（東場カンケイ）

吾々の子弟有権者の力で日系議員を七名もベレアドールに選挙しました。勿論市長も日系人を推しました。何とかしてバストスの郡政を立て直果して市会は革新され市政刷新の兆のつありませう。あと三ヶ月ばかりで議員就任一年となります。

ここで、これら議員さん達を招き、これからの抱負、これからの抱負、など色々きいて見たいと思ひます。又吾々からも種々希望をのべ、バストスの厚生のため、発展のために議員さん方に資料を提出したいと思ひます。

どうぞ、バストスの諸問題に関心をあよせ下さい

主催 バストス週報社

各位

最初ウルグワイの土地は他の諸州と同じようにポルトガルの領地であつたが、ブラジルの独立と共に、オリエンタルドウルガイ州とマブラジルの一州となつたものである。ここにはスペイン人が多数入り込んでいて、ポルトガル人とは別に植民地をつくつていた。そしてポルトガル人をここに追放しようとして両者の間に常にな争が絶えなかつた。それ故にブラジル帝國が出来るまでスペイン人はブラジルの支配からのがれて獨立しようとして企てた。かくて一八二五年四月、僅か三十二名からなる義勇兵の一隊によつて獨立の叫びがあつた。アルゼンチンが極力これを援助したため討伐に行つたブラジル軍は、その苦戦に陥り、やむなくウルグアイの獨立を認め、軍を引上げることになつたのである。

バストスにて

マスクして緑の羽根を鳩胸に
壁のせい杉をわみつつ春夜更け
念腹

Ah! não me masses. Já te disse que te fosses embora; e é preciso sair daqui, e depressa! Dou-te cinco minutos para partires; se ainda cá te encontro quando voltar ao pátio terás que te haveres comigo. Percebi perfeitamente que era inútil qualquer insistencia. Como dizia o estalajadeiro, "era preciso sair dali". Entrei na cavalariça e depois de ter despendido os cães e "Joli-Coeur", depois de ter fechado o seu sacco, e passado por cima do ombro, a corda da minha harpa sai da estalagem. Pareceu-me bem que andámos mais de duas horas sem que me atrevesse a parar, e todavia os cães faziam-me uns olhos cada vez mais supplicantes, enquanto "Joli-Coeur" me puxava pela orelha e esfregava o ventre, cada vez com mais força.

Finalmente julguei estar bastante longe de Toulouse para não ter nada a receiar, ou pelo menos para dizer que acalmava os cães e no dia seguinte se me mandassem fazer, e entrei na primeira loja que encontrei. Pedí que me dessem arrátel e meio de pão. disse-me a padeira;

- Bem pode comprar um pão de dois errateis, e bem preciso sustentá-los, os pobres animaizinhos.

Fiz depressa os calcuulos e disse á padeira num tom que diligenciei tornar resolutto, que tinha muito bastante com arrátel e meio, e que lhe pedia o favor de não me cortar mais.. Os cães alegres saltavam á roda de mim, e "Joli-Coeur" puxava-me pelos cabelos, dando gritinhos. Não fomos muito longe. Na primeira arvore que se encontrou no caminho, encostei-lhe a harpa ao tronco e extendi-me em cima da herba; os cães saciaram-se defronte de mim. Capi no meio Dolce dum lado e Zerbino do outro; enquanto a Joli-Coeur, que não estava cansado, ficou em pe para estar pronto a roubar os bocedos que lhe conviessem.

O tripchar o meu pão era um negocio delicado; dividi-lo em cinco pedagos, o mais iguais possivel, e para que se não estragasse os cães nenhum distribui-o em fatias pequenas; cada um tinha o seu bocão por sua vez, como se comessemos em gamela.

Depois de descansar um pouco, dei o sinal de partida; tinhamos de ganhar a cama, ou pelo menos o almoço do dia seguinte, se como era provavel, fizessesmos a economia de dormirmos ao ar livre.

No fim de uma hora pouco mais ou menos de marcha chegamos á vista duma aldeia que me pareceu para a realização do meu projeto.

Chegados a um largozinho pequeno no meio do qual havia uma fonte assombreada por platanos, peguei na harpa e comecei a tocar uma valsa. A musica era alegre, os meus dedos eram ligeiros, mas tinha o coração aflito; pareceu-me que trazia aos ombros uma carga bem pesada.

Disse a Zerbino e a Dolce que valsassem; obedeceram-me immediatamente e puseram-se a andar á roda a compasso. Nas nenhum se incomodou para nos vir vêr, e contudo eu vi ás portas das casas mulheres a fazerem meia ou a conversarem. Continuei a tocar; Zerbino e Dolce continuaram a valsar. Talvez que alguém se decidisse a aproximar-se de nós; se viesse uma pessoa, vinha logo outra, depois mais dez e mais vinte. Por mais que eu tocasse, por mais que Zerbino e Dolce dansassem, todos ficavam nas casas; nem já sequer olhavam para o lado onde nós estavamos. Ordenei a Zerbino e a Dolce que se deitassem. puse-me a cantar a minha cançoneta, e com certeza nunca me epliquei a isso com mais zelo.. Ia entabolar a segunda estrofe quando vi dirigir-se para nos um homem. Cantei com mais expressão.

- Olá! gritou ele, que fazes aqui garoto?

- O senhor bem vê, estou cantando.

- Pens alguma licença para cantares na praça da nossa comuna.

- Não senhor.

- Chama-me senhor guarda rural, e peíte a andar, mendigo.

Não foi preciso repetir-me outra vez, essa ordem; pus-me a andar como me haviam ordenado e tomei rapidamente o caminho por onde vinha. Quando estavamos bastante longe para já não ter a regejar á chegada impertinente do guarda rural, fiz um sinal com a mão e imediatamente os três cães formaram um circulo á roda de mim, "Capi" no meio, imovel, com os olhos fixos nos meus. Era chegado o momento de lhes dar explicações que eles esperavam.

- Como não temos licença para cantar, disse eu, mandam-nos embora.

- Então, perguntou "Capi" com um movimento de cabeça.

- Então, vamos dormir ao ar livre, seja lá onde for sem ceiar.

A palavra ceiar houve um grunido geral. (continue)..

移轉御挨拶

小生儀久しくエスペランサ區へ元の
 新生區)に居住いたして居りました
 が、今回家事の都合に依りサンパウ
 ロ市へ移転することになりました。
 長らく皆様のお世話に相成り御恩報
 じえ出来ず転任しますことは誠に心
 苦し次第ですが、その上今度出發に
 際しましては多大の御餞別に預り御
 芳志の段厚く御礼申上げます。
 尚將來共今迄同様の御交誼を賜わり
 ます様伏而御願ひ致します。皆様
 の御健康と御成功を祈願して御挨拶
 の辞といたします。

新任所は聖市クリッセーリオ街(宮前
 舎あと)につき聖市へ御出かけの節
 は御立寄り下さる様願ひ致します。
 一九五六年八月廿日出發に際し

福 澤 昌 信
 各 位

再び迷い手紙

受取人 差出人

- | | | | |
|----------|-----|------|-----|
| 高橋 節子様 | ハタチ | ルセリア | 金 井 |
| 小沢 なつ代様 | ミナト | 聖市 | ハルタ |
| 古賀 ツシサト様 | バズ | 山形 | 和田 |
| 吉武 熊市様 | ニシ | 山形 | 半田 |
| 五十嵐 新作様 | イナ | 山形 | 武下 |
| 浅田 ヤスジ様 | イナ | 山形 | 義之 |
| 佐藤 みさお様 | イナ | 山形 | イナ |
| 平井 レ子様 | イナ | 山形 | イナ |
| 大矢 せい子様 | イナ | 山形 | イナ |
| モリ サンジ様 | イナ | 山形 | イナ |
| 町下 上 様 | イナ | 山形 | イナ |
| 小出 孝松様 | イナ | 山形 | イナ |
| 渡辺 登様 | イナ | 山形 | イナ |
| 河島 作藏様 | イナ | 山形 | イナ |
| 伏魔 玄人 様 | イナ | 山形 | イナ |

本人御存知の方、手紙紙下
 受取り下さい
 あつかり所 週報社

先月の話

あさきゆめみしえひもせず

「援耕地の農協一線会が解散した相だ
 ね。知ってるの？」
 「うす／＼知ってる。だが援さんの心境
 に同情して、余り融れたくないんだと
 「それは高松事件でくさったかな
 と深いところにあるだろうが、根はちつ
 直接の原因は経済面ではないかな。今
 年の不作は一獲耕地に限ったことでは
 ないが、素人観客でも収入は支出の半分
 程度だから、いざのさすのは無理な
 いよ」
 「その筋の目もあつた事件で冷たい印象
 があつたようだ。海協連の〇氏の言で
 も援さんが物好きに、日本から孤児を
 呼寄せて百姓のマネをさせる様な調子
 だ。た相だ」
 「援さんにしては、農地経営には素人で
 はないにしても、口はくたまり程の腕
 ではないが、孤児十名を使うことには
 マラ／＼と三人使ふより実際はむづかし
 いことを計算に入れてなかつたか。とい
 う見方もある。それが戦災孤児たちの
 面倒を見るということに非常な慈悲を
 うち、いわゆる夢を託したことは援さ
 ん自身も認めて居られるのだが、戦後
 の日本有年、はよいとついでに、戦後
 六七十年の在伯老人とは別が、ちがうとい
 うことを実感振って見せささりと、現
 滅を感じた人ではないだろうか」
 「しかして、そう言う理由で多くの費用を
 つかかって組立てた耕地運営を、あつさり
 援さんが出すのはどうがね」
 「一農年の收支計算をして見たら三
 百コトとが五百コトと儲かっただけなら
 勇気も、この方が、差引二百コト以上の
 赤字とくると一寸考えろよ、たとえは
 道楽気であつたにしても、そこを深入り
 して一応警戒するだろう。それに彼ら青
 年の殆んどすべてが農業出身者でない
 こと、土地をなすほいと思つてない
 こと、月々定額の給子をとらつて時間
 や効くインフレガードの方が何と、ハ
 ッキリするだろうか。こういう援さんとは
 あつた肌合のちがつたのを、統率して行
 こうというのだから、夢にしてみ、楽し
 みより苦しみの方が多かろう」
 「おれの新島が援さんには、二の事業目論
 見に、援さんといつてわかるけれど、多少の思
 いちがいはあつたといわねはなるまい
 ね」
 「うまくいつてあたり前、
 今時炊事をしてやると一人一コト五百

もかかるというから、相当えういよし
 「しかし、そういふ同情は通りぬえ、一人
 いく、十人でいく、その位のことでは最
 初から判っている計算だ、なほ出す理
 由にはなりん」
 「いや、気分的に云ってあるんだ。内部
 の結束に疑点があったのではないが、
 「それとも、相対的な問題ではないのかね
 一方が結束の点に疑いをもて、一方が
 結束の熱意に不満をもつたとして、お互
 二つは、ないかと思ふ」
 「後さんが初期の情熱をなくしたとは
 思はれんが、何にしろ、残念だ、高松
 事件以後一層熱意を示して、たとえ二
 人になつても三人になつても、初志を貫
 徹して、この不名誉（高松事件）を回復して
 見せると決意の程を示したんだから、こ
 まんきりあつさり投出せしめると、さう、こ
 ちがとまごつた位だ」
 「聖神の放送局からそのいきさつを予
 知してつてくれとの依頼がある相だ」
 「僕も協賛一練会の青年にきいて見たい
 ことがある、ではもう少し尋ねて見る
 ことにするかし」
 「よからうし」

中南米視察代ギ士団お目見得講演

九月一日午後三時開米セントロ・ノはソラー
 ド・パリスでサンパウロ文化協会主催の日本のギ
 インの講演があり、クルツラーのラジオをきかれ
 るとの事で、マイナルを避けて見た、何だかキン
 キンききとりにくかつたが、きかなかつた人
 にありましおつたえいで見まう

赤城宗徳氏（自民）団長

不快なソ連、これをアメリカ一辺倒
 というわけにもいかぬ

日本国内でも南米方面には非常な関心を
 示して居りますが、国会でも一昨年視察団
 を出し、昨年は予算の都合で出せませんでした
 したが、本年は万難を排して参りました、中野地
 方にも邦字新聞が数あり、ラジオ其他なども皆々
 が想像以上に日本の國情などよく知つて居られる
 りで驚くと同時に、日本と南米の距離が又へん近
 くなつて居ることを感ずるのであります

日本は約一億の人口が山々の島にこぢこめられ居
 るが國民の努力により三〇年三十二年度にわたつ
 ては貿易の入額は十七、八億ドルから二十億ドル
 を超える好況を示し、戦前より生産能率は遠
 かに高く、西ドイツ、ソ連を凌ぐ程になつて居り
 ます、しかし何といつても一億の人口が、幹事合
 っている実情だから海外に出るのびるは、移
 住の対照地として日本の地域に近い東南アジア

が浮び、貿易の他の視察が次山出て居ります、インド
 ネシア、マレー、その他東南アジア各地には戦中日本兵
 が追駐して、幾分現地に被害を与えて居るので、この賠
 償をせねばならず、フィリピンには八億五千ドル、インドネシア
 には一億五千ドル、之れらは決定したが、方々にまだのこ
 つて居るもの賠償支払はねはなりのであります、又その外
 國民感情が必ずしも好いとは云へない点もあるので東南
 アジアといつても中々六ヶ敷いことで、勢い巨商日遠くても
 中南米に目を向け、力をこめておねがひなりの実情であります
 皆様の中でも戦時中抑留されたり、財産を没収され
 たり大変ご苦労されましたが、今や戦前より以上の大發
 展をされ堂々たる地盤を築かれました、この南米に日本
 人を移出し得るならば明るい希望がもてるのでないか
 と思はれます、吾々は本によつて幾分の知識をもつて居るに
 過ぎないのや、皆様に各自に力になり、色々お話を伺いたい
 と思つて居ります、又当司關係とも親善關係を強化し、発
 展の同胞の力をかり、日本内地で人口過剰の輸入により
 よき生活ができるならば、というので又本年も吾々が使命
 を帯びて参つた次第です、今度中南米を主体とし
 てブラジル、チリ、ペルー、アルゼンチン、メキシコに入り、パナマへ出てペルー、チリ、アルゼンチンを
 訪問し、ブラジルへ参りました
 ペルーで日大正十一年以降日本人を回国させぬので在伯邦
 人は非常苦んで居る諸をきき、非常にお気の毒に思ひ
 且つ、さういふ海外の事情に認識の足りなかつたのを取入
 った次第であります、又チリ一國には日本の後統部隊
 の入國がないので在伯同胞はさびしかつて居ります、メキシ
 コでは衆議院議長が自ら案内して國會を參觀させてく
 れました、アルゼンチンやブラジルは大同心もあるし在伯邦
 人も多かり、鳩山総理大臣より議員団を遣派するからよ
 ろしくたのむとのメッセージをもらひ、アルゼンチンでは既に岸波
 レカラジルでは数日大統領に手交する段取りとなつて
 居ります、吾々が旅行中は、同胞の方々から外
 交問題に關し質問を受けました、日本の國內事情を
 外地の人程に配されるのでありましよう

外交問題に中々回答を出すのは困難で、今のところ
 結論を出すに達して居ないのです、日本は色々困難な問
 題にぶつかつて居るが、領土問題がこの処其点となつて居る
 國風とはこのものか、理論的には日本の領土にちがひな
 いのです、ポツダム條約で日本は変更するの故受理し
 ているではないかとソ連人口をふ湖子で、ソ連は頭



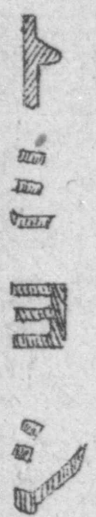
取次

板 カイフル・ビゴツタ・其他

必ず他店よりお安く、且つ御指定の

場所へ御届け申上ります

池田ホテル正門前



(シラスと人となり)

こなしにやつつけてくる。誠にやりにくくしてしようがない。前に河野農相が漁業問題のり込んた時、もうであつたが、宿舎はあつて、食物はロクに与えない。周囲の眼が光つていて、仲間同士の話も、さもない。仕方がないので、道路を歩き、作ら相談をするといつた有様であつたといひます。こういふ有様だから、重光全権もさぞ困つたであらうと思はれます。

鳩山総理がソ連に出かけるという話に、ついでには、すでにソ連がさういふ強硬一本むくることが判つて、以上、行つても行かなくとも、結論的に行つて、判明して、それより、労働問題などを討議して、ソ連との国交調整は、はすより外、手はあるまいと言われ、居ります。たゞ、ス米国長官などの助言により、今一段と、こちらから押して見るかどうかが、日本国民が、かまんで、さるが、納得するかどうか、ギリギリの線まで、待つて見て、もうこれ以上、どうしでも、駄目だ、と云う所まで、待つて見るより、仕方がないといふので、あります。もちろん、これは、私の個人の意見でなく、現在日本の二重外務大臣の帰朝をまつて、再審議される問題であり、ましよう。

又南の沖繩問題であり、国会に於ても、自民、社会ニ派協力して、アメリカのやり方は、不償をとの結論をなれ、世論を喚起することになつて居ります。参議院の選挙中、この問題をとり上げ、アメリカ側に訴へるのであるが、中々、きいてくれな。米側では、沖繩の借地料、一時、払を主張して、いるが、これでは、永久に、アメリカに、やっせ、まう、やうなことになるので、沖繩から、多数、日本内地へ人を派し、国民大会を起して、解決を計らうとし、国会からも、視察ギン、団を派遣しようとするが、中々、アメリカが、許可を下さないと云つた、実情にあるので、あります。沖繩などは、日本の領地に、ちがいないので、日本の責任に、於て、アメリカとの交渉を、つかけ、る事になります。安全保証條約と、行政協定の改正に、ま、ち、み、之を、国際法に、解決せねば、ならぬ、様、な、こ、と、に、なる、様、様、で、あり、ます。

日本も、今や、一個の、独立国、で、あり、ます、か、アメリカの、圧力、に、屈服、は、いた、せ、ま、せ、ず、共産圏、とも、自由、国家、とも、手、を、つ、な、ぐ、や、り、方、を、して、居、る、ので、アメリカ、一、辺、倒、とい、う、わけ、では、あり、ませ、ん、勝、戦、國、たる、ア、リ、カ、又、ソ、連、に、向、つ、て、も、せ、ひ、反、省、を、促、さ、ね、ば、な、ら、ん、と、する、空、気、は、今、や、日本、國、内、に、強、く、発、生、し、つ、つ、ある、ので、あり、ます。

大國が、国際會議に、於て、發言、する、力、は、さ、わ、め、て、強、い、ので、あり、ます、が、原、水、爆、の、發、明、に、よ、り、第、三、次、戰、は、起、ら、な、い、で、あ、ら、う、え、高、部、的、に、は、戰、争、は、あ、つ、て、も、全、世、界、が、二、つ、

トラートル

(フオールド)

賣り物が あります

よい條件 早い者 勝ち

御希望の方は左記へ

バストス産業組合内

松本マデ

Sabão ALBATOS Melhor Lava



サボン アルバトロリス

どのごかていでも
よろこばれる
ナゼ スカレルカ？
スナオで
色シロクナリ
ツカイヨク
おまけに ヤスイ手がアレナイ
ナホンはアルバトロリスに
おきめ下さい各商店ニアリ

に分れて戦うようなことはあるまいとい
うのが世界の國々の認識になつて居るの
で、今や小國の發言權も相当強くなつて
居ります。

世界情勢は刻々と変りつゝあり、日本
も戦前のやうな發言力はありませんが、國
力の回復を計る必要に迫られて居るの
で、各國との連繫を強くし、日本經濟の發展
拡充に全力を致さねばならぬのであります。
皆様が三、四十年或は五十年といふ長い
歲月を経て、ここに集られた地盤、基礎は
無言の大偉力、何程日本の後ろ橋として
力強いかわかりませぬ。私はまたアラジ
ルの業は何も判りませぬが、皆様のこいけ
んを聞き、これらをまとめて国会への發
言とするつもりです。尚益々御發展を祈
り御健康を願つてやみませぬ。また同行
の外の方の意見もあることでも、私から私
之で失礼します。(約三十分をやり)

赤城團長(自民) 茨城第三区当選五回衆議院
文教委員長理事、選挙委員、自民全党全國
組織委員会副委員長、帝大法学士
採点八十点 (採点者赤音)

次川侯清音氏(社会)副團長
秋田県オニヒ羅田法本、選挙委員、日本社
会党中央執行委員、当選六回

ラジオ

修繕部新設

技術優秀なテクニコが居り、ラジオの事なら何んでも御相談に応じます。少しでも調子がおかしかったら、おしらせ下さい、すぐ修理致します。修繕費は故障個所によって違いますが必ず勉強して差上げます。

歯ワタ 打ちかえし

古綿は衛生上から申しまして、早く打ちかえすことが大切です。打ち直しをして、気持ちのよい軽いフトンを作りましょう。

新綿 及びふとん綿

製作所

フレレンテ・バルガス街五三七へどうぞ

ヌード Nude とは

何であるか

去る八月二十六日夜バーストス写真同好会では、折柄末植中のコチア産組インスパートル、田村氏を招いて写真真に因する話をきくことになった。会場週報社サーク。田村氏の本職はコチアの会計監査役といふいかめしい様であるが大の写真通で日本でも専回家として数年研究を重ね伯國へ来てからは聖市バンネッテ會館ジュニオール級日本人五人男の一人として重きを与えて居る。話は可なり専門的なもので一般の方には解りにくい点があるのでは者、特にフイドの処だけ、わかりやすく御紹介する。八重禮辰見君、田村先生、そのヌードに關しては芸術寫真としてどの程度にこちらでは進んで居りますか。田村氏「私達の仲間では、コチアが写し部の中をウマの合う者だけで（笑名で）ヌード会というものを作り、必要に応じてヌードをやとうことにして居ります。このヌードといふのは曲線の美を対照としまして、バーストドの上からでは肌が全然わからぬので肌的美いものでなくはならず、

テレーム分譲

病院の東側より、シャーカーラ区に隣り飛行場附近一帯のシャーカーラ地帯十アルケール 分譲いたします。

レイタイロ

前田

ニムガ・ニムン

〔新品同様の品〕

格安に御相談に交じます。

金輪カロッサ（桑運搬用に適す）

之も格安に売ります。

御希望の方は左記へ（週報社）迄 姓名 在 社

ぬのでモデルの選定には非常に苦心しました。繪の方とちがって、写真にはレンズの外に補助レンズを使うので、肌のウズ毛など、写真よりもくろむので、肌にあかがあたり、傷があつたり、さめはたであつたりすると台なしになつてしまします。いいモデルにぶつかつても、ホーズが中々大教しい。そこでどうしても自分ヌードにはホーズを指導します。天賦肌にはさわれることもあり之れは若い人には、さえますまい。線の構成とあるがままというより写真家が作らねばならんから。私共の考は芸術として之を取扱つ以上線の美しさだけきねら、脱部は連想にまかせるような構圖を避けますが、自然光線だけでさうな構圖でないのライトもアトリエで使用が大きスタンドを用います。従つて場所が異なるなり、設備のある所がほしくなり、普通の室内では、やはり充分な効果は得られないようです。給與が、普通のモデルは一時間百針です。脱部（恥部を「隠す」）的なるもの方が面白く、絞りは使わぬ明け放しを撮ると深さがぐんと深味をまします。来ます。レンズも焦点深味の浅いものを選ぶと立体感が増します。ヌードといふのは単に裸態と考えないで作品の芸術性に対していう意味を含めるべきでしょう。男のヌードといふのは肉體（男性美）的豊満感でしょう。

佛教講演會

一日時 九月十四日

午後七時

一場所 バストス産業會館

東本願寺 開教總長

稻葉道意先生

今回歸國せらるるにつき

御別れの 大講演會でございます

賑々しく御参詣相成りますよう

御案内申上ります

バストス 佛教會

春 雜 念 腹 選

整理して春待つ山の雲動く 眼 諷

春の宵眼つむる癖の丈と座す 和 枝

忍びけは烟に葉もなし 菲の花 子 工

春宵や流行の色の紫衣を着て フ ミ

胡 瓦

やさしい屋、うしまる

一キロに呈うぬ胡瓦の初挽きも

わが手作りと思へば焼くも

ノイバに贈るアリアンサ美



時計その他貴金属

ツバシ市

時計店

ノイバ エスペランサ区

御案内

家族慰安

シネマの夕

リオの情熱

愛染かつら

其他 ニュース

来る九月十六日(ドミンゴ)

午後七時半

場所 ノイバエスペランサ学校にて

入場無料につきご来たも御下さい

主催 ノイバエスペランサ区

モンテイロ 区

今日が丁度 開業一周年

わづかな 経験ですが、此後左記の方針で進んで見たいと思っております

一 良品をやるわけ安價に

一 現金仕入の 実行

一 真面目 一本槍 で

ウキタ金物店

盛業中のホン店

ゆがる

素人にでも経営

くわしく教えます

いつでもアテンドします

ピジンニをおたづね

下さい

Bom Negocio em Bastos

Vende-se Padaria Internacional o motivo sera explicado ao interessado, pessoalmente. Atende-se qualquer hora.

PIGINI